

令和6年度 第2回 京田辺市立図書館協議会 会議要旨

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

- (1) 令和6年度の利用状況・
- (2) 図書館事業開催状況について
(事務局)

日誌より、11月3日のたなフェスに移動図書館車が参加。167冊22名の方に借りていただき、新しく5名の方が貸出券を作られた。

10月末までの利用状況について、全館の貸出冊数は455, 346冊となり、昨年度は465, 367冊ということで、約1万冊の減少となっている。Web予約のみを借りて帰られる方が増えた。北部分室では児童の利用の減少が目立つが、お年寄りの方の利用が戻ってきている。南部まちづくりセンターの貸し出しが減少している。Web予約数の関係から、慣れてきた方が中央図書館に来館されている。

事業実績について、今年度の講座は、文化講座として『和綴じ』講座、子どもの本の講座として『絵本について』の講座を開催した。定員以上の申込があった。

さまざまな年齢層の方に受講いただいた。英語のおはなし会を夏休みに全館で再開した。12月に開催予定になっている書庫公開DAYの申込方法をLOGOフォームでも可能とした。現在10名の申込があり、9名の方がLOGOフォームからの申込となっている。その他関連事業について、はぐはぐカフェは、昨年度は1回であったが今年度は3回予定されている。講談社全国訪問おはなし隊の巡回があり、キャラバンカーの見学会とおはなし会を中央図書館で2月に開催予定している。

(委員)

貸出冊数について全国的にも京田辺市が多い。多少の減少で何かあることはないが、減少させない対策、手法は必要である。

- (3) 京田辺市立図書館蔵書計画（骨子案）について
(事務局)

京田辺市立図書館蔵書計画の作成を予定している。内容の説明。策定の目的、

現状、蔵書冊数と貸出し数の変化などを分析し蔵書構成の見直しを行い今後の収集に役立てていく。

(委員)

蔵書計画のみを策定するのではなく、中期計画や活動のアクションプランといわれるものを作成する方がよい。その中で蔵書計画を立てていくことがよくある。現在予定している内容であれば、アクションプランを書いていくことと同じものとなる。蔵書計画というものではなく、大きな計画として立て、その中心的な存在として蔵書計画を位置づけるほうが図書館全体の動きは反映されるのではないかと思う。

(委員)

市民の使いやすい図書館にするために、図書館の使命を見せたものを作つてもらいたい。

(委員)

京田辺市の貸し出し冊数は同人口の規模の中ではトップ3に入っている。トップ5の図書館は、予約件数にしてもトップにいるが、京田辺市は11位である。予約以外の資料の貸出も多いということである。利用に関して、もっとアピールしていけば良いのではないか。今の時代は、インターネットで検索することから始める。この図書館に行きたいと思わせるようホームページをリニューアルするなどして、図書館をプロデュースすることも必要である。

(委員)

複合施設になると指定管理者制度が導入されると聞いたことがある。長所、短所があると思うので、勉強会のようなものがあるとありがたい。

(委員)

多くの図書館が複合施設となった場合、職員の配置が難しくなるという観点から、指定管理者制度を導入するケースが多いのは確かである。しかし、中央館は直営で管理、分館を指定管理者制度で管理するという方法も考えられる。

次回開催予定 令和7年1月10日(金)午後1時～ 集会室